

ニュースレターを発行して、皆さんの受験を応援します！

本号では、合格した先輩の合格体験記を掲載しています。夏休みの時間の使い方やモチベーションの維持など貴重な話を掲載していますので、ぜひ参考にしてください！

また、『国家試験のワンポイントアドバイス』として、末盛慶先生から「社会理論と社会システム」「社会調査の基礎」、北村育子先生から「高齢者に対する支援と介護保険制度」、添田から「相談援助の理論と方法」について説明します。暑い夏を乗り切るためのエネルギーにしてください！（編集担当：添田正揮）

先生からの激励メッセージ

添田 正揮



ついこの前まで4月だったような気がします……。時間が経つのは早いですね。

「夏」という季節と「夏休み」という期間をどのように過ごすかが大切です。働いている皆さんにとっては夏休みはあまり関係がないかもしれませんが、周囲の人々や街の雰囲気などを見ると開放的な気持ちになり、気が緩んでしまいがちです。一人になると楽な方を選んでしまったり、先延ばしにしまったりするなど、自分をコントロールが難しくなると思いますが、受験モードに本格的に突入する「秋」が来る前のこの時期を大切に過ごしましょう。とはいえ、何もかもガマンして緊張し続けることは精神的にも身体的にも堪えるので、リラックスする時間をうまく確保して、「勉強をやり続ける」ことができるようにしてください。緊張と弛緩のバランスや取り方は人それぞれ違うので、自分のペースをこの時期に見つけましょう。

さて、今月号の先輩のメッセージは、まさに「夏休みの過ごし方」について貴重な体験をまとめてくれています。私のゼミに所属していた学生でしたが、コツコツと勉強し続け、友達との支え合いや励まし合いがうまくできていました。皆さんも自分の時間の使い方を見直し、いいところをどんどん伸ばし、悪いと思うところはこの機会に改善してください。「何もしないまま夏が終わっちゃた…」と後悔することがないようにしましょう。

みんなで支え合って乗り切りましょう！何かあればいつでも相談してください。最大限サポートします。

夏休みと夏休み以降の勉強法

子ども専修 2022 年卒業 伊藤大武
社会福祉士

今回は7月号と言う事で、私が「夏休み」と「夏休み以降」にどのような勉強に取り組んでいたかをお伝えしたいと思います。少しでも、皆様の参考になれば嬉しいです！

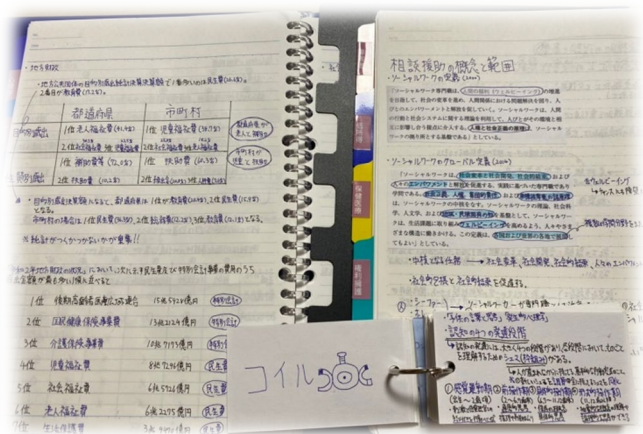
かなりおおまかな内容ではありますが、以下が勉強内容になります。



夏休み	夏休み以降	試験日付近
・赤マル福祉 ・過去問の復習 ・科目別勉強 (ノート作成)	・科目別勉強 (ノート作成) ・赤マル福祉 ・模試の復習	・赤マル福祉 ・人物名や年号の暗記 ・模試や過去問の復習 ・講座の復習

主に、勉強の軸となったのは、①科目別勉強と②赤マル福祉の2つです。

科目別勉強では、ワークブックなどを活用して、19科目を自分なりにノートとしてまとめました。簡単に言えば、2冊目のワークブックを作るようなイメージです。効率的ではないですが、自分の分かりやすいようにまとめることができるためオススメです。私は、グループワークの母と呼ばれるコイルの横にポケモンのコイルの絵を書いたり、肢体不自由児の父と呼ばれる高木憲次をコナンの高木刑事として覚えたりしていました。どんな覚え方であれ、頭に入れば同じです！！ちなみに、科目別勉強は夏休み手前頃から力を入れて取り組みました。



次に、赤マル福祉です。赤マル福祉では、統計や制度などここ数年で変化があったものが修正され、最新のもので出題されるのでオススメです。赤マル福祉には、使いやすい、使いにくいなど様々な意見がありましたが、私はここに魅力を感じたため活用していました。勉強方法としては、基本的に問題を解いていくだけになりますが、間違えたところなどは調べるようにしていました。私は、広く問題に触れることを重要視していたので、この二つを軸に様々な問題に触れるようにしていました。以上が私のおおまかな勉強内容になります。

最後に、勉強を行う中で一番大切だと思うのは「継続すること」だと思います。就活、卒論、実習など大学4年生は凄く大変な時期だと思います。それらに加えて、国家試験勉強に取り組むわけですから一筋縄ではいけないと思います。しかし、ここで何もやらないのと、1日15分だけでも取り組むのでは大きく差が出てくると思います。勉強が嫌いな私でも、毎日少しずつ取り組んでいると、自然に勉強時間が伸びてきました。そのため、少しずつでもコツコツと勉強に取り組むことをオススメします。そして、多少の追い込みが必要になってくることもあります、無理しすぎる事なく息抜きもしっかりしてください。また、試験は本当に何があるかわかりません、模試で90点を越えたことがなかった私でも、本番で模試の最高点数+30点の得点を取れるということもあります。いつかできるから今日できるのです。あきらめずに頑張ってください！！応援しています！！

社会福祉学部 web ページで情報発信中

社会福祉学部の web ページでニュースレターをご覧ください。中段の「正課科目で国家試験合格をサポート」の項目に掲載しています。

お手持ちのスマートフォンで上の QR コードを読み取ってください。今後もニュースレターで合格に向けた情報を発信するので是非ご覧ください！

【社会福祉学部 web ページ QR コード】



【ニュースレター4月号 QR コード】



【ニュースレター6月号 QR コード】



国家試験ワンポイントアドバイス —「社会理論と社会システム」—



末盛 慶

【本科目の特徴と頻出分野】

社会理論と社会システムは主に社会学と言われる分野の内容から出題されます。19科目全体の中でいくと、出題範囲がやや広めの科目になります。一方、本科目では法改正等が問われる問題は少ないため頻出分野をしっかりとっておさえれば一定の得点をとることができます。早速、本科目の頻出分野を7つにわけて以下紹介していきましょう。

- ① 社会集団論：本科目でもトップクラスの頻出度。ゲマインシャフト、ゲゼルシャフト等の多様な学説をおさえておきましょう。ウェーバーの官僚制やインフォーマルグループなどのキーワードも要チェックです。
- ② 地域社会：社会福祉政策全体が地域重視になっていますので、地域系の問題が例年よく出されます。特にアーバニズムなどの米国の都市社会学の議論が出題されます。
- ③ 家族・世帯：これも頻出。家族の概念や世帯動向の調査結果などが問われることが多いです。夫婦家族制、直系家族制の意味、三世代や単身世帯の動向などが問われます。
- ④ 行為・役割：これも毎年のように出る問題です。しっかり押さえておきましょう。さまざまな学者の行為論や役割論が出されます。過去問を軸におさえていきましょう。
- ⑤ 社会学理論・学説：範囲が広いが例年よく出される所。デュルケム、ウェーバー、ジンメル、マルクス、ハーバーマス、ブルデュ、ギデンズあたりはおさえておくように。
- ⑥ 社会的ジレンマ：ほぼ毎年出されます。過去問を軸に内容を理解しておきましょう。
- ⑦ 社会問題：現在社会的に注目されている社会問題が出されることが多いです。貧困、ジェンダーなどが出されますが、直近で出題された分野は避けられる傾向にあります。

社会理論と社会システムは出題範囲がやや広いので高得点をねらうのは難しい科目ですが、上記の頻出分野をしっかりとっておさえいくと赤マルや模試等でも安定した点がとれるようになると思います。



国家試験ワンポイントアドバイス —「社会調査の基礎」—



末盛 慶

【本科目の特徴と頻出分野】

社会調査の基礎は少しとっつきにくい印象があるかもしれませんが、19科目全体で見ると出題範囲が狭く、法改正に関わる内容も少ないため、試験対策がしやすい科目の1つです。本科目は意識的に捨てる分野を作り、勉強のエネルギーを頻出分野に集中させることで結果的に高得点をとることができます。以下、頻出分野の紹介です。

- ① 統計法：毎年ではないが、2年に1回程度出題されます。内容的にそれほど難しくありません。改正時の変更内容をおさえながら基礎的なところを理解していきましょう。
- ② 社会調査の倫理：ほぼ毎年出題されます。頻出かつ正答しやすい問題です。社士全体でも見ても、絶対に正解したいタイプの問題の1つになります。
- ③ 調査方法：全数調査、標本調査、横断調査、縦断調査等が頻出です。
- ④ 量的調査の抽出方法：抽出方法は頻出です。少々内容が難しいので講義等を聞くと良いでしょう。YouTubeの解説を聞くのも1つです（例. カリスマ社会福祉士さんの動画）。
- ⑤ 量的調査の質問紙の作り方：これもほぼ毎年出題されます。ダブルバーレルやキャリーオーバー、イエステンデンシー等の用語の意味を理解していきましょう。
- ⑥ 質的方法の調査方法：面接法、観察法、ドキュメント法あたりがよく出されます。
- ⑦ 質的データの分析方法：KJ法やグラウンデッドセオリアプローチが頻出。内容はやや複雑ですが、丁寧におさえれば大丈夫。YouTubeの解説動画を見るのも1つです。

以下は、やや大胆な意見になりますが、量的調査の分析方法は捨てて良いと思います。特に相関分析、回帰分析などは勉強しなくて良いと私は思います。理解するまでに時間がかかることに加え、それほど頻出とは言えないからです。量的調査の分析方法で出るとすればクロス集計かと思います。クロス集計は出題される可能性があるので取り組んだ方が良いと思います。基本的に上に挙げた頻出分野に学習のエネルギーを注ぐことが高得点への近道です。頻出分野をしっかりおさえれば、7問中5問程度は正解できると思います。



日々コツコツと勉強を続けると、力が付いてきます。応援しています！

国家試験ワンポイントアドバイス —「高齢者に対する支援と介護保険制度」—



北村 育子

高齢者福祉論は、試験科目のなかでも、比較的とっつきやすい科目ではないでしょうか。本学では一年生科目ですから、もうすっかり忘れてしまっているかもしれませんが、復習すればすぐに思い出すことでしょう。国家試験ではご承知のとおり、満点を取る必要はありません。一年生の授業の最後にも申し上げましたが、授業でお話したことをきちんと復習していただければ、60%ぐらいの正答はできるはずです。

高齢者福祉論に関して国家試験の出題傾向は、ずっと変わっていないと思います。大学の授業で取り上げている基本的知識を問うものと、国民生活基礎調査や認知症・高齢者虐待などに関する調査の結果を踏まえたもの、そして制度的にかなり細かい部分に踏み込んだもの、の三つぐらいに分けることができます。

国民生活基礎調査など、頻繁に出題に用いられているものについては、受験前にネットで最新の調査結果の「概要」にざっと目を通しておきましょう。そんなに長い時間をかけて内容をメモしたりノートを作成したりする必要はありません。択一式の試験ですから、正誤の判断に助けになるぐらいの記憶があれば十分です。

高齢者福祉制度については、授業で取り上げた程度の知識は必須です。介護保険制度だけでなく、老人福祉法、その他関連する諸々の法律については、きちんと復習しておいてください。事例問題は点数の稼ぎどころですから、取りこぼしのないようにしてください。残りの「難しい」問題については、勉強したことがなくても、持っている知識を総動員してベストを尽くして正答を推しはかってください。基礎知識があれば、難しい問題の正答率も確実に高くなります。

ご健闘をお祈りします。

国家試験ワンポイントアドバイス —「相談援助の理論と方法」—



添田 正揮

【本科目の特徴と頻出分野】

「相談援助の理論と方法」は出題数が21問と最も多い科目となっています。事例問題（条件付き問題）も多く、難易度も高いとは言えないため、この科目で得点を伸ばすことが合格につながるといえます。

また、実習や実習指導において学習したり使用したりした用語がたくさん出てくるため、複雑な法制度よりも暗記や理解するにあたって抵抗感が少ないと思います。しかしながら、出題数が21問ということで、科目の出題基準（大項目と中項目）のほとんどから出題されるため、出題の傾向を押さえたうえで偏らないように学習しておきましょう。

学習のポイントは以下の通りです。

1. 大項目1「人と環境の交互作用」のシステム理論は、ソーシャルワークの重要な理論となるため確実に理解しておきましょう。
2. 大項目3「様々な実践モデルとアプローチ」の中項目のうち、過去5年に出题されているものは必ず学習しましょう。
3. 大項目4「相談援助の過程」は、選択式問題と事例問題の双方で出題されるため、過去問題で出題方法や設問文・選択肢を確認しておきましょう。
4. 実践のための技術に関する項目については、過去の問題を繰り返し解くことでそれぞれの項目の要点をつかむことができます。以下の大項目とそれに付随する中項目はしっかりと学習しておきましょう。
大項目6「相談援助のための面接技術」、大項目7「ケースマネジメントとケアマネジメント」、大項目8「アウトリーチ」、大項目9「相談援助における社会資源の活用・調整・開発」、大項目10「ネットワーキング」、大項目11「集団を活用した相談援助」、大項目12「スーパービジョン」、大項目13「記録」は過去問題で出題方法を押さえておきましょう。
5. 大項目17「相談援助の実際」では、事例問題（条件付き問題）が中心で出題されます。皆さんが受験する回のひとつ前の回とは異なる事例が出題されることが多いので、中項目で例示されている社会的排除、虐待、家庭内暴力などに対する具体的な実践をイメージできるようにしておきましょう。



■国家試験に関連する主なスケジュール■

昨年度のスケジュールを参考に、今年度前期の予定を紹介しておきます。
（変更になる可能性もありますので、社会福祉特別講座Ⅱでのお知らせや掲示などを随時確認してください）

4月	ニュースレター 社会福祉特別講座Ⅱでの力試し（第2回実力テスト）
5月	実践プログラムの案内・受講申し込み開始（5月下旬～6月初旬）
6月	ニュースレター
7月	ニュースレター 国試出願オリエンテーション 社会福祉特別講座Ⅱの期末テスト
8月～9月	実践プログラム（前半）への参加
10月～12月	実践プログラム（後半）への参加

有料ですが大変お得です！
合格したい人はぜひ受講を！

合格を目指して、

みんなで頑張りましょう！

